「やられたらやり返せ」は間違い？

原坂一郎の子育て相談

Q　4歳と2歳の息子がいます。兄はやんちゃですが優しく、弟にたたかれても泣いたりするだけでした。が、あまりにもやられっぱなしなので、「やられたらやり返しなさい」と言うと、今度は加減せず、弟にパンチやキックをするようになりました。悪いのはいつも弟ですが、乱暴をはたらく長男の方を激しく叱るようになってしまいました。「口で言いなさい」と言うと、今度は私に向かってくるようになり、困っています。どうしたらいいでしょうか。

A　お兄ちゃんにとって、2歳の弟なんて、逆襲して泣かせるなんていうことは簡単だったはず。それをあえてしなかったのは兄としての優しさです。そこへ、「やられたらやり返しなさい」という願ってもない言葉。お兄ちゃんの乱暴にお墨付きを与えたのはあなたです。「口で言いなさい」というと、あなたに向かってくるのは、その矛盾に対する抗議でしょう。

まずは、素直にお兄ちゃんに謝ってください。「たたかれたらたたき返していいなんて間違いだったわ。ごめんね」と。そのうえで、たたかずに口で言うことなどを伝えるのです。けんかの最中にではなく、あなたもお兄ちゃんも落ち着いているときに言いましょう。

そして、「お兄ちゃんが強いことはよく分かった。たたかれて泣いていたのは我慢してやってたんだね。偉いね」とほめてください。分かってもらえたうれしさでお兄ちゃんも聞く耳を持ってくれるはずです。

でも、兄弟げんかはしてほしくないですよね。けんかの仲裁で一番よくないのは、上をたしなめ下を怒り、と両方を叱ることです。そのつどお互い、相手のせいで叱られたと思ってしまうのです。

両方の言い分を聞き、「本当」「それは大変だったね」と共感するだけで、どちらもずいぶん落ち着きます。「やられたらやり返せ」式の教育は一般に父親に多いのですが、さらなるトラブルを増やすだけです。もう絶対に言わないでくださいね。

（こどもコンサルタント）

Copyright © The Sankei Shimbun. All rights reserved.掲載記事、写真の無断転載を禁じます。